



慶應義塾大学ビジネス・スクール

日吉珈琲株式会社

慶應義塾大学ビジネス・スクール*

2006年5月15日

5

平成18年3月、慶應義塾大学ビジネス・スクールでMBAを取得したM27期の仲間5人は、東急東横線の日吉駅前に日吉珈琲株式会社というベンチャービジネスを立ち上げた。日吉珈琲は、鮮度の高い有機栽培のコーヒー豆を大量に仕入れ、小口に分割して、スーパーマーケットなどの小売業者に卸していく。創業者仲間5人は、最近、健康や環境に対する意識が高まっているなか、安全性の高い高品質のコーヒー豆市場は、将来有望であると判断していた。

10

問題1 日吉珈琲株式会社第1期（平成18年4月1日より平成19年3月31日まで）に生じた以下の期中取引を仕訳しなさい。（日付と小書きは省略する。）

15

1. 創業者全員で、総額20,000,000円を出資し、日吉珈琲株式会社を設立する。出資額は全額資本金とし、払込金額は全額当座預金とした。

20

2. 日吉珈琲株式会社は、創業者5人を、一人年収2,000,000円で従業員として雇った。

25

*このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール助教授太田康広が複式簿記の演習問題として作成した。ケース中の企業は架空のものである。 (2006年5月作成)

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、ケースの複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail case@kbs.keio.ac.jp）。また、ケースの注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/case/index.html>。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、本ケースのいかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またはいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送は、これを禁ずる。

30